

平成25年度：NPO関連予算総括表
〔復興(震災・原発事故)関連事業〕

文部科学省

省庁名	文部科学省
-----	-------

○初等中等教育分野

連番	事業名	新・継 区分	施策・事業概要	25年度予算額 (百万円)	24年度予算額 (百万円)	補助率	実施主体	公募スケジュール	申請方法	照会窓口	24年度NPOへの実績	備考
1	復興教育支援事業	継続	被災地における自治体や大学・NPO等の多様な主体による復興に向けた特色ある教育支援の取組に対する支援を行う。	95	55	委託事業であり、申請金額の査定あり	自治体、大学、NPO等	平成25年 2月下旬～ 3月募集 (予定)	指定の様式により申請	初等中等教育 局教育課程課 庶務・助成係 03-5253-4111 (内2364)	委託件数:12団体 (うちNPO法人は4 団体)	
2	緊急スクールカウンセラー等派遣事業	継続	被災した幼児児童生徒・教職員等の心のケア、教職員・保護者等への助言・援助等様々な課題に対応するため、スクールカウンセラー等を学校等へ派遣し、教育相談体制を整備する。併せて、生徒指導アドバイザーを活用するなどして被災した児童生徒に対する生徒指導の充実を図る。事業の実施にあたっては各自治体及び法人格を有する団体に委託する。	(3,913の内 数)	(4,702の内 数)	委託事業であり、申請金額の査定あり	自治体及び法人格を有する団体	平成25年 2月 平成25年 4～5月決定 (予定)	指定の様式により申請	初等中等教育 局児童生徒課 生徒指導第二 係 03-5253-4111 (内2905)	委託件数:91団 体 (うちNPO法人は 26団体(予 定))	

○スポーツ・青少年分野

3	スポーツ振興くじ助成 (東日本大震災復興・復興支援助成)	継続	スポーツ振興くじ(toto)の収益により、NPO法人を含むスポーツ団体が行う総合型地域スポーツクラブの復興等を目的とする事業に対して助成を実施。	未定	982	被災地の総合型地域スポーツクラブ支援事業:10分の10(定額)	NPO法人を含むスポーツ団体	平成24年10月 18日～12月28 日	独立行政法人 日本スポーツ 振興センター へ申請	独立行政法人 日本スポーツ 振興センター 振興事業部助 成課 03-5410-9180	配分総額:259 件、982百万円 (うちNPOへの配 分額:84件、約31 百万円)	
合計	—	—	—	95 (未定分+内数 事業を除く) (増減額: △942) (増減率: △91%)	1037 (内数事業を除 く)	—	—	—	—	—	—	—

参 考 资 料

復興教育支援事業

平成24年度予算額	55百万円
うち復興特別会計計上分	55百万円
平成25年度予算額(案)	95百万円
うち復興特別会計計上分	95百万円

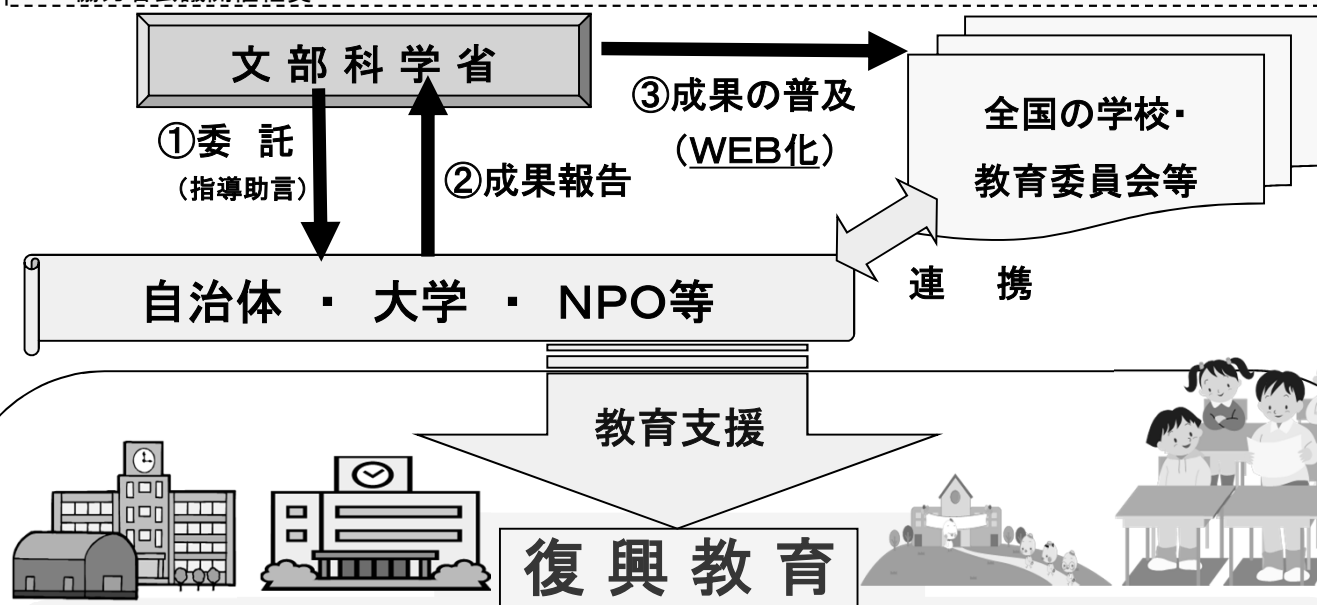
被災地では、自治体のみならず、大学・NPO等様々な主体が積極的に関わり、被災地の復興はもとより、今後の我が国の学校教育の新しいモデルとなるような先進的な取組が進められつつある。このような取組は、新学習指導要領が重視している「思考力・判断力・表現力」や「学ぶ意欲」の向上にも大きな役割を果たすことが期待されるものである。

このことを踏まえ、被災地の復興を支え、今後の学校教育の新しいモデルともなる先進的な教育活動を展開する団体の取組を支援するとともに、その成果を全国に普及する。

【事業内容】

復興に向けた先進的な教育活動を展開する自治体や大学・NPO等が行う取組を支援するとともに、これらの取組成果を広報することにより、被災地以外も含めた教育の参考に資する。

- ・団体委託費(16件)
- ・協力者会議開催経費



東日本大震災の教訓を踏まえ、被災地の復興とともに、我が国全体が希望を持って、未来に向かって前進していけるようにするための教育

【具体の取組例】

- ①社会を生き抜く力の養成
 - 震災体験や科学的知見を踏まえた防災教育の推進
 - 避難所生活等を踏まえた思いやり、助け合いなど心の教育の推進
- ②絆づくりとコミュニティーの再構築
 - 地域の様々なコミュニティー(公共機関、農林水産団体等)の復興への動きと連動した地域学習の推進
- ③未来への飛躍
 - 地域の復興に貢献し自らの生き方を考えるキャリア教育、市民教育の推進
- ④学びのセーフティネット
 - 震災の影響により学習が遅れがちとなった児童生徒への個に応じた授業の推進や体験活動の実施
 - 子どもの安心安全などについて保護者等への相談・カウンセリングの推進

緊急スクールカウンセラー等派遣事業

平成23年度第1次補正予算額 : 3,015百万円

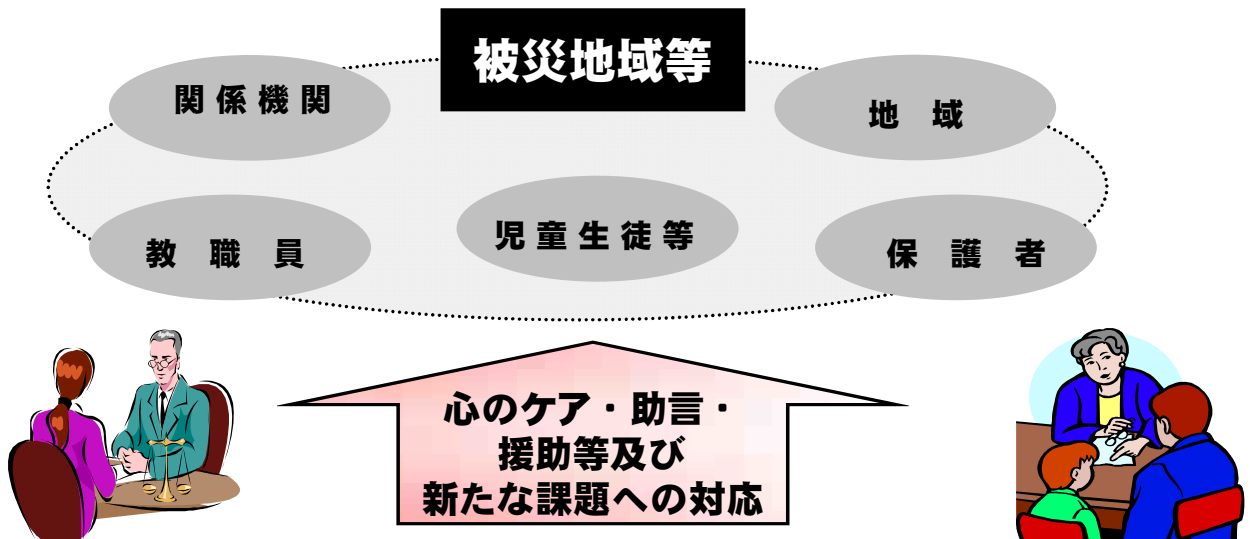
平成23年度第3次補正予算額 : 351百万円

平成24年度予算額 : 4,702百万円【復興特別会計措置額】

平成25年度予算額(案) : 3,913百万円【復興特別会計計上額】

東日本大震災により被災した幼児児童生徒・教職員等の心のケアや、教職員・保護者等への助言・援助、学校教育活動の復旧支援、福祉関係機関との連携調整等様々な課題に対応するため、平成23年度補正予算及び平成24年度予算において、スクールカウンセラー等を緊急派遣する経費を措置したところ。

これらの支援について、被災地の自治体からは平成25年度以降についても引き続き支援を要望されていることから、被災した幼児児童生徒・教職員等に対する切れ目ない心のケアや必要な支援を行うための経費を計上する。



心のケアの対応

- ・スクールカウンセラーの派遣
臨床心理士、精神科医 等
- ・スクールカウンセラーに準ずる者の派遣
相談業務経験者、教育・福祉分野の専門的知識を有する者 等
- ・電話相談体制の整備
- ・心のケアに資するためのソーシャルワーク、学習支援

進路指導・就職支援

- ・緊急進路指導員の派遣
若年者の就職支援の経験を有する者、地域産業界の事情に精通する者 等
- このほか、被災した高校生が首都圏で就職活動を行うための支援を実施

障害のある子どもへの支援

- ・外部専門家の派遣
作業療法士(OT)・理学療法士(PT)・言語聴覚士(ST)・児童精神科医 等

生徒指導体制の強化

- ・生徒指導の経験豊富な者の配置
生徒指導体制を強化するため、生徒指導に関する知識・経験豊富なアドバイザー等の配置等